

No.2376

新雪の富士を眺めたい 鬼ヶ岳・節刀ヶ岳

実施日 2008年11月2日(日)

天候 晴れ

リーダー 涌井 良明
参加者 若村貴世子、若村勝昭、馬場清士、涌井良明、新井田英子、鈴木恵美子 計6名

費用 JR 利得パス 2,300円 富士急 2,220円 タクシー 1,500円 バス 610円 計 6,630円

タイム 河口湖駅(8:41 タクシー)漁眠荘(9:10 ~ 9:15)林道終点(9:30)休憩(10:16 ~ 10:23)休憩(11:14 ~ 11:20)雪頭ヶ岳(11:50 ~ 12:25 昼食)鬼ヶ岳(12:50 ~ 13:14)節刀ヶ岳(13:20 ~ 13:30)鬼ヶ岳(14:14)鍵掛峠(14:59)林道(15:37)根場バス停(16:00 バス)河口湖駅(16:55)

連休中日で好天予報、JRは空いていたが富士急は悪評の殿様商売でも込込の大盛況。馬場さんのダッシュでタクシー確保してゆっくりトイレ後、漁眠荘奥の道標のある登山口まで入る。

薄く雲はあるがまずまずの天候である。15分程で2年前に出来たというチョコレート色の大堰堤のある広場から山道になる。

割と緩やかなジグザクの快適な登山を行く。

紅葉シーズンもまだ続いており黄葉と常緑樹のコントラストも和みになる、そのうち傾



斜も段階的に急になってくる、いつものながら何で山登りが好きなんだろうかと自問したりしている自分がある。落葉に覆われた道は踏跡分らないような細かい所があったりするが、急登は変わらずである。

ブナの自然林と書かれた道標を見ると先行きの標高差が大分少なくなってくる、ロープの



ある急斜面を越し、富士や眼下の西湖の眺めに嬌声をあげながら 11:50 雪頭ヶ岳に着く。秋のパノラマが素晴らしく、富士スバルライン五合目の建物が巨大な山肌にへばりついているのがくっきり見える。



時間も丁度なので、豪華な眺望も味わいながら昼食も味わった、女性陣差し入れの漬物も格別であった。

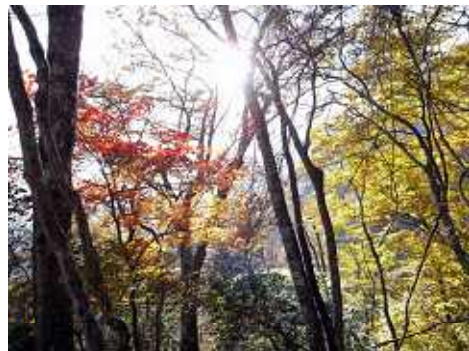
12:25 午後の部の活動を開始する、今日はまだ先の歩きは長いのだ。少し急な下りと小さな岩混じりの稜線を行きハシゴで岩場を越すと鬼ヶ岳である、鬼の耳にあたる2つの岩が鎮座する山頂である、十二ヶ岳の山腹の岩場と紅葉の眺めが美しい。また南アルプス全山の稜線のうねりがシルエット状に浮かんで見とれてしまうが、そのんびりもしてられないので、早々に節刀ヶ岳の往復に向かう、帰りの登山のつらさを覚悟しながら暫く

下り、緩く登って金山へ更に 10 分程で最後の小さな急登の後、節刀ヶ岳に着いた。一部遮られるものの富士山や八ヶ岳から奥秩父などの展望もできる

こぢんまりした本日の最終の頂である。写真を撮って覚悟の登り返しを頑張り鬼ヶ岳まで引き返す。



さあ、下山にかかろう、西へ鍵掛峠まで稜線を行くが、小さな登降や足下注意の札のある固定ロープの岩場などを通過して行く。変化があって面白いが楽でない道だ、45 分で鍵掛峠に着き左へ根場への下りに入る、九十九折りの道を早めのな足取りで下る。西陽に輝く紅葉が美しい道である、やがて堰堤を越すと沢に沿った巻道を下って



いくと山道も終わり、林道に出る。車は走れない道をしばらく歩くと、

鍵掛峠登山口の道標を見る。その先は根場再奥に最近出来たようだが茅葺きの民家を多数ある『西湖いやしの里』なる有料施設になっていた。観光客で賑わう中を根場のバス停に 16 時着、山と高原地図で鍵掛峠から 2 時間 30 分の道を 2 時間で歩けたのは今回のメンバーの優秀さの証ですね。特に下りの女性陣の歩きは賞賛に値するものでしょう。

連休の混雑で 1 時間遅れて運行のバスがラッシュ並みだったのには閉口したが、河口湖駅前で山梨名物ほうとうで反省会としゃれ込み今日のスケジュールも全て無事終えることができた。

メンバーと天気の女神そして一日遊ばせてくれた山々にも感謝です。

またあそばせてね。

(記&写真・涌井 良明)

